

PROGRAM NOTE

2017 年 03 月

いつくしみ深き 友なるイエス

栢沼 康夫



朝顔教会（東京都世田谷区松原町 2-29-19）は、尾崎宣教師夫妻を「HCJB アンデスの声」の日本語放送電波宣教師として太平洋放送協会が派遣した 1963 年からの支援教会です。私は 1972 年から教会の海外宣教部に関わったのですが、当時、教会では「短波放送」への知識は乏しく誰もよくわかりませんでした。そこで、私は早速自分で短波ラジオ（SONY スカイセンサー）を購入して、集会中に番組を受信して教会のみなさんに直接聴いていただきました。しかし、「よく聞こえなかった」とだけいわれて心が折れたことを思い出します。ウェーブの中から「遠くの声に耳を澄ませる」のが「短波」の喜びなのに・・・

私がクリスチャンになったのは 18 歳の時でした。東京練馬の教会に母親に誘われたのがきっかけでした。母親の離婚ということもあり、高校は中退して独学しながら伊香保の観光旅館で営業の仕事につき、最終的には支配人として JTB 指定旅館にまで成長させたあと、今は定年退職しています。

朝顔教会に行くようになったきっかけは、私たちの結婚をとりなしてくださった方から紹介されたのですが、教会の成長もめざましく会員数は 30 名から 180 名に増えました。私は壮年会の役員に任じられたのですが、それは私が仕事柄名前と人物をよく覚えられるのが役立ったのだと思います。おまけに海外宣教の係まで受け持つようになりました。その頃、教会としては中田智之宣教師夫妻を南米ブラジルへ最初の宣教師として派遣し、その後、井田牧師と岩崎役員はブラジルに現地視察に出かけました。帰路はエクアドルに寄って HCJB 放送局をたずね「アンデスの声」にも出演したのですが、私は機会を逸しました。

私の信仰の歩みをふりかえってみると、神様の働きというのは、その時は非常に困難に覚えることがあっても、ふりかえってみれば、すべてが神様のご計画の中にあったことを知らされます。聖歌で歌われているように「数えてみよ、主の恵み」を実感させられます。中田宣教師もブラジルのマナウスで地元の学校を創設し、尾崎宣教師も放送伝道の働きを半世紀以上続けておられます。私も支援者のひとりとして関東地区のリスナーの集いには必ず出席しています。

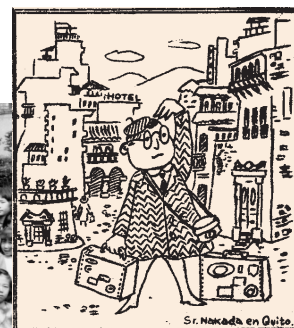
私の結婚も、神様の導きでクリスチャンの家にめぐり逢うことができました。そこで、毎日、家庭礼拝を始めたのですが、それがいつも長くなると家内がテーブルの下からストップサインを出したものです。今にして思えば、家族みんなで神様にお従いすることができたことは何より感謝なことだったと思います。長女、長男、次女の 3 人の子供が多感な年頃にはそれぞれ試練にも会いましたがぐぐり抜けることができました。結婚する時も親は一切口を出さず、ただクリスチャンの家庭を築いて欲しいとだけ伝えました。長女は都立の病院の看護師で子供は 4 人あたえられましたが、コンピューター教師だった父親は膀胱癌で他界しましたが、残された子供たちは、現在、大学伝道、海外ミッション、老人養護施設などで活発に奉仕しています。次女は牧師夫人になりましたが、結婚前にブラジルの中田宣教師のもとでいっしょにボランティア奉仕をして知り合った中で、子供が 3 人。長男・長女は小学生、次女は 4 月に入学です。

正直なところ、私自身は仕事のために子供のたちには十分なことは何もしてできませんでした。孫の時代になってさすがに運動会や学芸会を見に行くようにはなりましたが。先日、長女の孫で大学一年生の子が「おじいちゃん、おばあちゃん、一緒に伊豆温泉旅行へ行きましょう。アルバイトをしたので費用は心配しないで」と誘われ孫と水入らずのすばらしい時間を過ごすことができました。これから日々育ていく子供たちのことに思うにつけ、上から与えられた家族という不思議な「つながり」に言い知れぬ驚きをおぼえます。私たちを守り、次世代の歩みを末代まで導いてくださる「友なるイエス」に感謝したいと思います。

いつくしみ深き友なるイエスは 罪とが憂いを取り去りたもう
こころの嘆きを包まず述べて などかは下ろさぬ 負える重荷を
（讃美歌 312 番）



朝顔教会の日曜学校の生徒たち
左端が尾崎一夫（当時神学生）



サタデー・トーク

バイブル・トーク

きき手 尾崎一夫 毎週土曜日放送		淀橋教会 峯野龍弘主管牧師 毎週日曜日放送	
3 月 0 4 日	主イエスに導かれた道 栢沼康夫（1）	3 月 0 5 日	聖書遊覧バス 旧約聖書ヨシュア記 10 章
3 月 1 1 日	主イエスに導かれた道 栢沼康夫（2）	3 月 1 2 日	聖書遊覧バス 旧約聖書ヨシュア記 11 章
3 月 1 8 日	リスナーからの「お便り交換の時間（1）」	3 月 1 9 日	リスナーからの「お便り交換の時間（2）」
3 月 2 5 日	主に新しい歌を パイプオルガン奏者 野町太郎	3 月 2 6 日	聖書遊覧バス 旧約聖書ヨシュア記 12 章

放送後の番組は、ホームページ(<http://japanese.reachbeyond.org>)のトップページ左側メニューにある『インターネット放送』のリンクページからお聴きいただけます。（mp3 形式）

放送時間：日本時間 午前 7 時半～8 時 17760kHz （再放送） 午後 8 時～8 時 30 分 15400kHz
（米国アリゾナ州制作／オーストラリア送信）